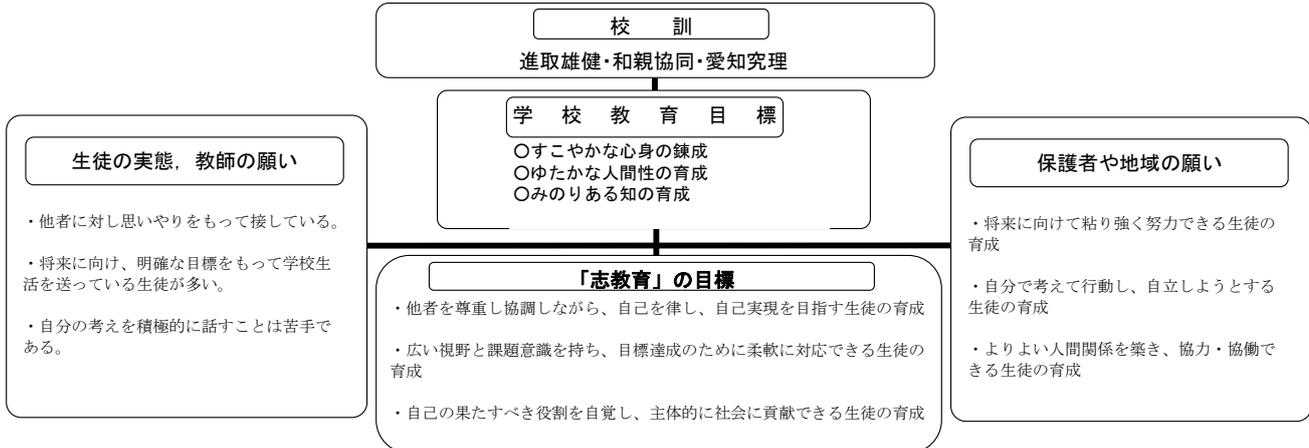


宮城県気仙沼西高等学校 「志教育」年間指導計画

3つの視点		かかわる	もつめる	はたす	かかわる	もつめる	はたす	かかわる	もつめる	はたす	かかわる	もつめる	はたす	かかわる	もつめる	はたす
		国語	地歴	公民	数学	理科										
各教科指導目標	国語を表現、理解、伝える力を育成し、思考力や想像力を伸ばすことにより、総合的な言語能力の向上を養う。	日本と世界の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会において平和で民主的な国家・社会を形成する態度を養う。	現代社会について考察、理解を深めさせるとともに、社会における人間としての在り方生き方についての見識を育み、平和国家、民主的国家・社会の一員である自覚を養う。	基本的な概念や原理・法則の理解、事象を考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を養い、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて問題解決する能力を育成する。	自然の事物・現象に対する関心や科学的な自然観を身につけさせ、観察や実験なども行い、科学的に探求する姿勢を養う。自然災害や環境問題に対応できる能力を育成する。											
	保健体育	芸術(音楽)	外国語	家庭	情報											
	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と実践を通し、生涯にわたって健康の保持増進のために明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。	音楽の活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性、表現、鑑賞の能力を伸ばす。	外国語を通して、言語や文化の理解を深め、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力と異文化を理解する姿勢を養う。	人間の健全な発達と生活の営み、家族・家庭と社会との係わりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。	社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、それを正しく活用できる能力を養い、情報化社会に主体的に対応できる能力と態度を育てる。											
	商業	福祉	学年共通指導内容													
	商業に関する基礎的・基本的な知識と技術、ビジネスの意義や役割について理解させる。現代社会において、倫理観をもって経済社会に対応できる能力と実践的な態度を育てる。	社会福祉に関する知識と技術を総合的、体験的に習得させ、理念と意義を理解させる。福祉に携わる人材として、諸課題を主体的に解決し、社会福祉に貢献できる実践的な態度と姿勢を育てる。	① 家庭学習の習慣化 ② 進路目標の意識化 ③ あいさつの励行 ④ 清掃活動によるきれいな校舎の維持 ⑤ 規律と節度ある行動、礼儀を重んじる生活習慣 ⑥ 生徒会行事や部活動の活性化													
各学年年間指導目標	1年	○日々の授業を大切に、将来を見据えた自主的、計画的な学習習慣を考慮させ、それを実践・確立させる。 ○高校生の本分を自覚させ、それにふさわしい学習姿勢および生活習慣を身につけさせ、進路意識の早期定着を図る。 ○学校の校風になじませ、部活動・学校行事・生徒会活動を通じて、本校生徒としての自覚と誇りを持たせる。														
	2年	○家庭での学習習慣を確立することを第一とし、日々の授業に対し予習・復習を徹底する。また、各教科からの課題など積極的に取り組み、自身の学力向上を目指し努力する姿勢を養う。また、総合的な学習の時間を通しキャリア教育の充実を図ることで早期に進路目標を具体化させ、その実現に向けての対策を講じさせる。 ○基本的な生活習慣の定着を図るとともに、中堅学年としての自覚をもたせ、学校行事などへの自主的・積極的参加を促す。 ○修学旅行を学習面・生活面とともに有意義なものにするため、入念に準備を行う。														
	3年	○最上学年としての自覚をもち、日々の授業を大切にして学力向上に努め、かつ学校全体の中核的な役割を果たさせるように指導する。 ○自己の具体的な進路目標達成のため、計画的かつ主体的に自己実現する力を身につけさせる。 ○さまざまな機会を通じ、将来社会の担い手として必要な思考力を育成し、現代社会に多面的に適応し得る資質を養う。														
指導内容		ねらい	指導教科等	実施時期	時数			かかわる	もつめる	はたす						
1年	自己理解	入学時に、高校生活を送るにあたって自己の生き方や将来について考察させる。	総合的な学習の時間	4月	1			○	◎							
	HR合宿	集団生活の中で、統合校(気仙沼高校)一期生としての自覚を高め、自主自立の心を育てる。	学校行事	4月	21			◎	○	○						
	進路講話	進路選択の進め方や、目標に向けての取り組み方について、理解・修得する。	総合的な学習の時間	9月	1				◎							
	キャリアセミナー	自己を理解し、職業についての理解を深め、進路実現への道を考察させる。	総合的な学習の時間	10月	4			○	◎							
	学年活動の日	統合に向けて、気仙沼高校生との交流を図り、人との関わり方について考えさせる。	学校行事	10月	7			◎	○							
	10年後の自分	10年後の自分が社会とどう関わるかを考える。	総合的な学習の時間	2月	2			◎	○							
	先輩の話を聞く会	先輩の経験談から、自己に対する知見を深め、進路目標設定の一助とする。	総合的な学習の時間	2月	2			○	○							
2年	進路学習①	進路についての理解を深め、進路目標達成の意識を高める。	総合的な学習の時間	5月		1		○	○							
	進路学習②	学費や奨学金について理解を深め、進路実現への道を考察させる一助とする。	総合的な学習の時間	6月		1		○	○							
	調べ学習	職業や学問についての理解を深め、進路実現への道を考察させる。	総合的な学習の時間	9月		1		○	○							
	進路講演会	進路選択の進め方や、目標に向けての取り組み方について、理解・修得する。	総合的な学習の時間	9月		1			◎							
	進路ガイダンス	自己を理解し、職業についての理解を深め、進路実現への道を考察させる。	総合的な学習の時間	10月		2		○	◎							
	先輩の話を聞く会	先輩の経験談から、自己に対する知見を深め、進路目標設定の一助とする。	総合的な学習の時間	2月		2		○	○							
3年	面接練習会	進路実現に向けて、目標達成できる力を育成する。	総合的な学習の時間	6月		1		○	○							
	心肺蘇生法の演習	社会や日常生活における、危機的状況に対応する力を習得する。	総合的な学習の時間	10月		3		○	○							
	消費者教育	社会人になるにあたり、社会とのかかわり方を習得する。	総合的な学習の時間	10月		1		◎	○							
	社会人着こなし講座	社会人になるにあたり、社会人として相応しい着こなしを習得する。	総合的な学習の時間	11月		2		○	○							
	ビジネスマナー講習	職業人になるにあたり、勤労観や職業観を育成する。	総合的な学習の時間	1月		2		○	◎	○						
全学年	進路希望調査	自己を理解し、進路実現への道を考察させる一助とする。	総合的な学習の時間	4月	1	1	1	○								
	「進路の手引き」解説	進路学習の進め方や卒業後の進路選択について、理解・習得する。	総合的な学習の時間	5月	1	1	1	○	○							
	ネットマナー講習会	社会や日常生活における、情報化社会やインターネットとの係わり方について知見を深める。	総合的な学習の時間	5月	2				◎							
	防災訓練①(地震)	訓練を通して防災意識を高めるとともに、身を守るための行動力と判断力を養う。	総合的な学習の時間	6月	1	1	1	○	○							
	防災訓練②(火災)	訓練を通して防災意識を高めるとともに、身を守るための行動力と判断力を養う。	総合的な学習の時間	9月	1	1	1	○	○							

志教育全体計画

宮城県仙沼西高等学校



重点指導事項		
<p>人と「かかわる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい人間関係を構築する力を高めさせる。 ・互いに高めあう人間関係を形成する力を高めさせる。 ・自己を理解し、自己を律する力を高めさせる。 ・自己の在り方・生き方に対する認識を広めさせる。 	<p>よりよい生き方を「もとめる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の可能性を高めるために、学習に主体的に取り組ませる。 ・進路計画に基づいて、今取り組むべき課題を明確にし、その解決策を見つけさせる。 ・進路実現を目指す上で、とらえた課題を解決していく態度やスキルを身に付けさせる。 ・自己の興味・関心・適性に応じた進路について可能性を検討させる。 ・将来についての総合的・現実的な理解に基づいて、進路を主体的に選択・決定させる。 	<p>社会での役割を「はたす」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や社会において自分の果たすべき役割を自覚させ、積極的に取り組ませる。 ・職業生活における権利・義務・責任を理解し、社会人としての心構えをもたせる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	基礎・基本となる内容を確実に身に付け、それを基に自己の課題を発見し、自ら考え、より適切に問題を解決する能力を育てる。学ぶことの大切さを理解させ、主体的に学習に取り組む態度と実践力を育てる。
道徳	学校の教育活動を通じて、自己を見つめ、他者を尊重しながら、人間としての在り方・生き方を主体的に探究し、自己実現を目指した実践力を育てる。
学習の総合的な時間	自己の進路に対する課題を発見し、自ら考え、より適切に問題を解決する能力を育てる。学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育て、自己の在り方・生き方を考えることができるようにする。
特別活動	豊かな心や健やかな体を育成し、望ましい人間関係の構築を軸に各活動を進める。 学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を重視し、自主的・自発的な態度を養うとともに、集団への所属感を深めていく。
その他	職業観や将来の職業選択等について生徒と教員が話し合う機会を増やしながら、集団の中の個の在り方等についての指導・支援を充実させていく。

各学年の取組内容	
1年	前向きに生きる姿勢を育み、よりよい人間関係を構築する能力や態度を養い、高校生活への適応を図る。他者や社会とのかかわりを通して、自己理解を深めさせ、自己の在り方生き方の認識を広めていけるようにする。
2年	今後の人生を送る上で必要となる力を身に付ける意味での学習意欲を喚起し、リーダーシップを積極的に発揮させ、望ましい人間関係の構築を進められるようにする。自己の個性や適性を理解し、目前の進路選択について具体的に吟味させ、進路目標及び具体的な進路計画の設定ができるようにする。
3年	最高学年として学校全体の良好な雰囲気作りの先導役となるよう促し、互いに高め合う人間関係を形成する能力を育てる。自己の進路等に関連する具体的な課題を設定させ、その解決に向けた実践を行い、進路達成に向けた実践的な態度及び社会参画への自覚や意欲を高めていく。

家庭との連携

- ・三者面談など教育相談の充実を図り、保護者との連携を充実させる。
- ・保護者会・懇談会や学校行事等を通して、PTAとの連携を充実させる。

地域・企業との協働

- ・体験学習や行事などを通して、地域の協力を仰ぐなど、地域力（企業・人材・史跡・自然など）を積極的に活用していく。